

第17回日本医薬品情報学会 総会・学術大会
シンポジウム

7月12日(土)13:15～15:15 第1会場(県民ホール)

シンポジウムNO	演題名 座長、演者
シンポジウム1	チーム医療における医薬品情報の共有と展開 座長:池田 龍二 (鹿児島大学医学部・歯学部附属病院薬剤部) 伊東 弘樹 (大分大学医学部附属病院薬剤部)
	S1-1 がんチーム医療における医薬品情報の活用と創出 池末 裕明 (九州大学病院薬剤部)
	S1-2 感染制御におけるチーム医療と地域への展開 松元 一明 (慶應義塾大学薬学部)
	S1-3 薬剤師がチーム医療に還元すべき腎臓にまつわる情報 柴田 啓智 (済生会熊本病院薬剤部)
	S1-4 フィリピン台風30号被害に対する国際緊急援助隊医療チームの活動と薬剤師 恵谷 誠司 (鹿児島県薬剤師会薬事情報センター)

7月12日(土)13:15～15:15 第2会場(2F 中ホール)

シンポジウムNO	演題名 座長、演者
シンポジウム2	医療現場でのRMPの活用 -医療従事者(薬剤師)と製薬企業の連携- 座長:武部 靖 (くすりの適正使用協議会ベネフィット・リスクマネジメント/リスクコミュニケーション啓発委員会) アドバイザー:齋藤 充生 (帝京平成大学薬学部)
	S2-1 医薬品リスク管理計画(RMP)概要と公開事例の紹介 大道寺 香澄 (くすりの適正使用協議会)
	S2-2 医薬品安全性監視と薬剤疫学の応用事例 原田 彩織 (くすりの適正使用協議会)
	S2-3 RMP実施における医療現場(中小病院)での取り組みおよび課題 荒木 隆一 (市立敦賀病院薬剤部)
	S2-4 RMPにおける病院薬剤師の役割 佐藤 雄己 (大分大学医学部附属病院薬剤部)

7月12日(土)13:15～15:15 第3会場(3F 大研修室1)

シンポジウムNO	演題名 座長、演者
シンポジウム3	患者とくすりと薬剤師の共創的パートナーシップ構築～アドヒアランスを志向するコミュニケーション～ 座長:平野 裕幸 (ファーマクラスター株式会社) 畑中 和義 (日本経済大学大学院ファーマシーマネジメント研究所)
	S3-1 アドヒアランスに関する昨今の課題 堀 玲子 (株式会社アンテリオ)
	S3-2 薬局を舞台にした薬剤師に役立つアドヒアランス・プログラムとは 北川 潤之介 (ターギス株式会社)
	S3-3 医療消費者の保険薬局への期待と満足 原 仁史 (株式会社アイ・ユー・ケイ)
	S3-4 医療情報の流れの変化に対応した、新たな情報共有の試み 大屋 亜希子 (一般社団法人サードパス)

7月13日(日)9:30～11:30 第1会場(県民ホール)

シンポジウムNO	演題名 座長、演者
シンポジウム4	患者とくすりと薬剤師の共創的パートナーシップ構築 座長:武田 泰生 (鹿児島県病院薬剤師会部) 内野 悟 (鹿児島県薬剤師会)
	S4-1 香川県における医療機関間および開局薬局との患者情報共有の取り組み -地域医療連携と処方情報の電子化・医薬連携- 樋口 和子 (香川大学医学部附属病院薬剤部)
	S4-2 院外処方への情報提供と共有 中村 敏明 (福井大学医学部附属病院薬剤部)
	S4-3 「薬剤師外来」から「地域薬局」への情報提供の有用性について 野添 大樹 (社会医療法人聖医会サザン・リージョン病院)
	S4-4 在宅患者を対象とした当地域の多職種連携の形式 赤池 剛 (川辺調剤薬局)

第17回日本医薬品情報学会 総会・学術大会
シンポジウム

7月13日(日)9:30～11:30 第2会場(2F 中ホール)

シンポジウムNO	演題名 座長、演者
シンポジウム5	医薬品情報の共有と応用 座長:折井 孝男 (NTT東日本関東病院)
	S5-1 医療情報DB基盤整備事業について 片平 尚貴 (厚生労働省医薬食品局安全対策課)
	S5-2 DB導入後の品質保証に向けて 小川 倫洋 ((独)医薬品医療機器総合機構)
	S5-3 バリデーシヨンの結果を踏まえて 小出 大介 (東京大学大学院医学系研究科)

7月13日(日)14:10～16:10 第1会場(県民ホール)

シンポジウムNO	演題名 座長、演者
シンポジウム6 市民公開講座	ドーピングにおける社会貢献～東京オリンピックに向けて薬剤師が出来ること～ 座長:大石 順子 (公認スポーツファーマシスト認定審査委員)
	基調講演:田辺 陽子 (JADA 理事、全柔連理事) シンポジスト:浅川 伸 ((公財)日本アンチ・ドーピング機構) シンポジスト:伊藤 静夫 ((公財)日本体育協会) シンポジスト:金田 光正 (聖隷横浜病院)